

- 10月7日、大統領選挙の投開票が行われ、極右で元軍人のボルソナロ下院議員と、左派で元サンパウロ市長のアダジ氏が今月28日に実施される決選投票へ進みました。
- ボルソナロ氏は約46%と過半数に迫る票を獲得、また、所属する社会自由党（PSL）も同日に行われた議会選挙で大幅に議席数を伸ばしました。
- 市場ではボルソナロ大統領誕生への期待が高まり、8日のブラジル・レアルは上昇しました。

【ボルソナロ氏とアダジ氏が決戦投票へ】

10月7日（現地時間）、テメル大統領の任期満了に伴うブラジル大統領選挙が行われ、極右で元軍人のボルソナロ氏が約46%の票を獲得、左派労働者党（PT）のアダジ氏の約29%を大きく引き離し首位となりました。もっとも、いずれの候補者も当選に必要な過半数には届かず、今月28日に両名による決選投票が行われることとなりました。

また、同日実施された下院全513議席と上院81議席のうち3分の2を改選する議会選挙において、ボルソナロ氏率いる社会自由党（PSL）が下院の議席数を8から52に伸ばし、PT（56議席）に次ぐ第2党となる見込みです。他方、これまで政権の中枢を担ってきた中道政党は軒並み議席数を減らす結果となりました。

ボルソナロ氏は過激な発言で知られ、「ブラジルのトランプ氏」とも呼ばれていますが、国民の間では汚職問題や政策の頓挫による低成長等への不満から、「伝統的な」政党や政治家に対する反発が強まっており、新たなリーダーを求める動きが広がっていました。また、農業系団体等の保守派が直前にボルソナロ氏とPSLの支持に回ったことも追い風となりました。

【市場ではボルソナロ大統領誕生への期待が高まる】

これまでに行われた世論調査では、ボルソナロ氏、アダジ氏が決選投票に進んだ場合、支持率が拮抗し、いずれの候補にも勝利の可能性があると見られてきました。こうした予想にも関わらず、今回ボルソナロ氏が過半数に迫る票を獲得する躍進を見せたことで、市場では決戦投票で同氏が勝利する可能性が高まったと受け止められました。

ボルソナロ氏はシカゴ大学出身の経済学者をブレーンに登用していることから、市場では比較的「安全な」候補として認識されています。このため、翌8日のブラジル市場では株式市場は上昇し、ブラジル・レアルも対米ドル、対円ともに上昇しました。

【今後の見通し】

決選投票においては、今のところボルソナロ氏が勝利する可能性が高いとの見方が優勢となっていますが、ボルソナロ氏のこれまでの過激な発言やアダジ氏の汚職疑惑に対し、双方で非難合戦が強まる可能性があることには注意が必要です。また、敗退した中道右派等の勢力が、どの候補者支持に回るかも注目されます。

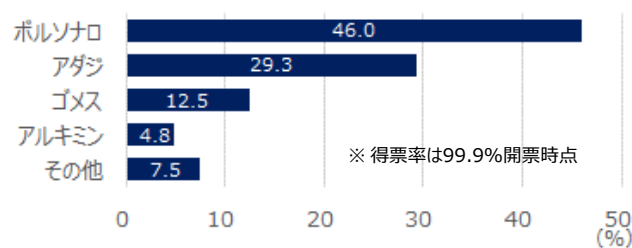
次期政権の政策については、ボルソナロ氏は歳出削減や国有企業の民営化等を掲げており、基本的にはテメル政権が推進してきた改革路線に近い政策を目指すと思われる一方で、対するアダジ氏は年金改革に反対しており、ばら撒きの政策を目指す可能性があります。ただし、いずれの候補が勝利した場合でも、議会運営には中道勢力等の協力が必要となり、その他の政党の動向によっては、政策の実現が困難になる可能性もあると見られます。

今回の結果については、8日の為替等の動きからも分かる通り、市場は好感している模様です。ただし、決選投票に向けた両陣営の動き、更には連立政権を見据えた他の政党の動向等が注目され、これらは引き続き市場の変動要因になると考えられます。

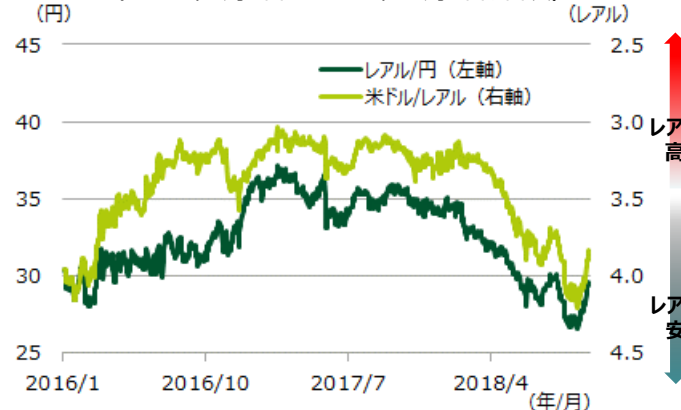
出所：Bloombergのデータ及び各種情報等を基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成

※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

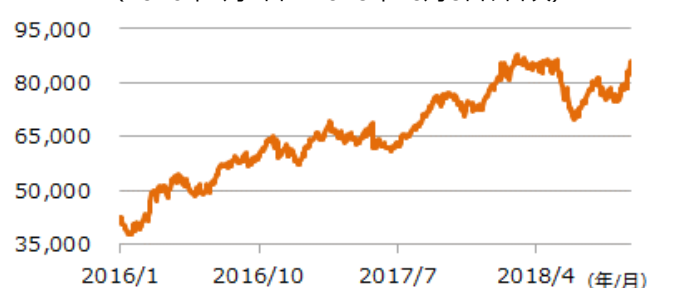
【図表】10月7日の大統領選挙の投票結果



【図表】ブラジル・レアル（対円、対米ドル）の推移
（2016年1月1日～2018年10月8日、日次）



【図表】ブラジル株式市場（ブラジル・ボヘスバ指数）の推移
（2016年1月4日～2018年10月8日、日次）



ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限1.0%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%程度（税込）
- その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

«ご注意»

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会